



枚方市の教育目標

学びあい、つながりあい、  
一人ひとりの未来をひらく  
～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを  
支え、可能性を最大限に伸ばす～

くめざす学校像

すべての子どもたちが安心して、  
最大限の力を発揮できる学校

教育目標『ともに学び ともに進まん』

くめざす児童像

- 自分と向き合う子  
自分のことを知り（自分とつながり）、自分の気持ちや行動を整えられる子
- 自分を高める子  
目標に向かって素直・前向きに取り組み、調整・修正しながら失敗を恐れずにチャレンジできる子
- 他者とつながる子  
自分と仲間を互いに認め合い、最適解・納得解を出せる子

くめざす教職員像

- 子ども一人一人の人権を重んじ、心に寄り添える教職員
- 授業力向上に向け、自ら学び続ける教職員
- 心身ともにたくましく、責任を全うできる教職員
- チームで課題解決に立ち向かえる教職員
- 笑顔で子どもに向き合える教職員

本年度の重点課題と具体的な取組み

重点課題Ⅰ ～豊かな心の育成～ 思いやりをもち、協力して取り組める子どもの育成	重点課題Ⅱ ～確かな学力の向上～ 学ぶこと・考えることが好きな子どもの育成	重点課題Ⅲ ～基本的生活習慣の確立と体力向上～ 身体を動かすことが好きな子どもの育成
<p>①人権意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「いじめを絶対に許さない」集団づくり</li> <li>・「いじめ防止対策推進法」「蹉跎小学校 いじめ防止基本方針」に基づいた対応の徹底、日常の観察とアンケート等による児童の実態把握と迅速な対応、保護者、児童への丁寧な対応かつ公平な指導</li> <li>◆体罰・暴言の絶対禁止</li> <li>・児童の人権を認めた言動</li> </ul> <p>②道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「考え、議論する道徳」に向けた授業の工夫</li> <li>◆特別の教科 道徳の保護者・地域への授業公開</li> <li>◆自己肯定感を育むクラスづくり</li> <li>・授業中は、呼び捨てにしない、愛称を使わない</li> </ul> <p>③生徒指導体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒指導担当者を中心とした迅速で組織的な対応</li> <li>・報告・連絡・相談の徹底→教師を一人にしない組織的な対応の構築</li> <li>・必要に応じたケース会議の開催</li> <li>・生徒指導事案については、軽微であっても内部系PCに詳細に記録し、全教職員に共通理解を図る（学期に1回は生徒指導全体会を実施する）。</li> <li>◆不登校の未然防止と支援</li> <li>・欠席、遅刻等の早期の状況把握と共有</li> <li>・心の教室相談員やSC、関係外部団体等との連携</li> <li>・チームでの家庭訪問や別室登校等、柔軟な取組の実施</li> <li>◆心を整えるための合言葉「姿勢・挨拶・靴と椅子」</li> <li>・全ての教職員によるこまめな声かけの徹底</li> </ul> <p>④教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆日々の整理整頓と早期の補修（自分でできることは自分で補修する）</li> <li>◆集中清掃の実施（教師もともに）</li> <li>◆学期の始まりには校舎内の簡易清掃を実施</li> </ul>	<p>①学校全体としての取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学力向上主担者を中心とした組織的・継続的な取組の実施</li> <li>・6年間の発達段階を踏まえた明確な目標達成をめざす指導</li> <li>・全学年の指導が系統的に組織された取組みの構築</li> </ul> <p>②学習規律の徹底と確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「枚方スタンダード」の徹底</li> <li>・チャイム席、授業準備、挨拶、話し方、聞き方、姿勢等の徹底</li> <li>・学びに向かう学習環境の維持・徹底</li> <li>◆総合的な学習の時間を中心とした「学びの地図作り」</li> </ul> <p>③授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活・総合を中心とした校内研究と授業実践</li> <li>・全教職員がチームとして取り組む</li> <li>・非認知能力の向上を基にした「生きる力」の育成</li> <li>・家庭学習を単元計画に組み込み、シームレスな学びに基づいた指導の構築</li> <li>◆相互授業参観の活用</li> <li>・学級運営の観点も含め、積極的な授業公開と相互参観の実施</li> <li>◆基礎・基本の定着</li> <li>・児童の個性に合わせた指導</li> <li>◆Hirakata 授業スタンダード（第2ステージ）の実施</li> <li>◆タブレット端末を活用した個別最適化された授業づくり</li> <li>・必要に応じたより効果的な活用方法づくり</li> <li>・タブレット活用時のルールの徹底</li> </ul> <p>④家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「家庭学習の手引き」の活用と保護者への協力依頼（学級懇談会、PTA総会、学校・学年だより等を活用して）</li> <li>◆計画的な自主学習ノートの取組み</li> <li>・計画的な家庭学習方法を獲得するための指導</li> <li>・児童一人ひとりの自分なりの学習方法への指導</li> <li>◆児童の課題に対応した宿題等の実施（タブレットの活用等を含む個別最適化された宿題）</li> </ul> <p>⑤読書習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆読書ノートの活用</li> <li>◆図書室の割り当て時間や活用の工夫</li> <li>・読書に興味や関心を持たせる指導や資料活用を意図した利用</li> <li>◆保護者ボランティアの活用</li> </ul> <p>⑥支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆各学期に1回の「全体会」で支援学級在籍児童や支援を要する児童について共通理解を図る</li> <li>◆支援教育コーディネーターを中心とした個に応じた指導方法の研究</li> <li>・支援学級在籍児童が通常の学級での授業でも居場所がある指導方法づくり</li> <li>・通級指導教室と支援学級それぞれにおける指導方法の研究</li> <li>◆支援学級担任と通常学級担任の連携強化</li> <li>・生徒指導上の課題や学習課題を共有し、課題解決に向けた強固な連携づくり</li> <li>◆ユニバーサルデザインによる学習環境の充実</li> <li>・全ての児童が安心できる学習環境がユニバーサルデザインであることを念頭に、学校全体でユニバーサルデザインに取り組む</li> <li>・常に児童にとって安心・安全な環境であるかの視点を持つ</li> </ul>	<p>①基本的生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者との連携のための実態把握</li> <li>・学校教育自己診断の活用と分析</li> <li>◆「早ね・早起き・朝ごはん」の徹底</li> <li>・学校教育自己診断の活用と保護者への情報発信、協力依頼</li> </ul> <p>②体力についての課題の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆体力・運動能力調査等を活用した「体力向上プラン」の作成と活用</li> <li>・体育部を中心とした分析とプランの全教職員による作成と活用を図る</li> </ul> <p>③体育の授業時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の主体性を大切にした授業の実施</li> <li>・体育カード等の積極的活用と振り返りの充実</li> <li>◆ねらいを明確にした授業の実施</li> <li>・授業計画の点検</li> <li>・一人ひとりの授業後の振り返りと新たな目標設定の充実</li> <li>◆系統的な計画に基づいた取組の実施</li> <li>・最終目標（ゴール、つきたい力）を明確にした授業計画の策定</li> </ul> <p>④個に応じた取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆苦手意識を克服するための工夫</li> <li>・主体的な取組みとなる授業づくり</li> <li>◆マラソン週間の設定</li> </ul>
<p>重点課題Ⅳ ～保護者・地域との協力連携～ 地域とともにある学校づくり</p> <p>①コミュニティスクールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校運営方針の共有化</li> <li>・学校の願い、保護者の願い、地域の願いの共有</li> <li>◆学校運営協議会の設置と役割分担</li> <li>・コミュニティスクール担当教員を校務分掌に明記し、地域に開かれた学校づくりに資する</li> <li>・年間3回以上の学校運営協議会の開催</li> </ul> <p>②安全・防災のための協力依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災教育への協力</li> <li>◆PTAとの通学路点検・地域パトロールの実施</li> <li>・登校班名簿作成の協力依頼</li> <li>◆「虐待」「不登校」「いじめ事案」等の早期発見のための情報共有</li> </ul> <p>③地域人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校図書館ボランティアへの協力依頼</li> <li>◆放課後自主学習教室への協力依頼</li> <li>◆昔遊び、裁縫指導等のゲストティーチャーの積極的活用と協力依頼</li> </ul> <p>④「保・幼・こ・小・中」連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆校務分掌に担当者を明記し、組織的に連携を進める</li> <li>・段階解消に向け、積極的な連携を進める</li> <li>・「5歳児架け橋会議」や「小中連携会議」等を積極的に進め、情報共有を図る</li> <li>◆学習状況の保護者への報告を補完するスマイルプラス等の活用と毎学期の保護者への報告</li> <li>◆学校だより・学年だより・学級だよりの発行</li> <li>・A4用紙1枚程度または Classroom での学校だより、学年だより、学級だよりの毎月定例発行等</li> <li>◆ホームページ及び学校ブログの充実</li> <li>・学年のページの作成（各行事内容等の紹介など）</li> <li>◆学校行事・オープンスクールへの参観依頼</li> </ul>	<p>重点課題Ⅴ ～学校運営組織の充実～ 信頼される教師集団の確立</p> <p>①服務規律の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆身だしなみ、時間厳守、危機管理等の徹底</li> <li>・TPOをわきまえた身だしなみや言動</li> <li>・子どもたちの見本となるべき態度に努める</li> </ul> <p>②長時間勤務の縮減（熱心≠長時間勤務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆タブレット等、ICT機器の活用</li> <li>・教職員間の情報交換</li> <li>・会議のペーパーレス化（印刷時間の短縮等）</li> <li>◆会議の短縮と各分掌の取組みに関する計画的な提案</li> <li>・提案文書の学年会等での審議や質問の整理等</li> </ul> <p>③ともに学び続ける意欲と主体的に動く意識の向上</p> <p>④「報・連・相」の徹底による孤立の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム学校としての組織的な対応の徹底</li> </ul> <p>⑤“温かなおせっかい”の実践</p>	

